

5月18日（水）本年度第42回（通算 第2823回）

「 会 員 卓 話 」

担当/プログラム委員会

12時30分～釧路プリンスホテル

◆お客様と来訪ロータリアン

小林 貢様（終身会員）

◆メーキャップ

4/26 菊池 美恵子さん（東京恵比寿RC）

5/16 石井 東洋彦君、大澤 恵介君、小野寺 英夫君、川村 真一君、小林 裕幸君、坂入 信行君
佐渡 正幸君、高橋 邦弘君、中嶋 嘉昭君、中島谷 友一朗君、平井 昌弘君、本間 明美さん
森山 義文君、山本 大介君（以上14名 釧路西RC）

◆出席報告【会員総数 75名 免除 6名 出席計算に用いた会員数 75名】

本日の出席率 出席者 47名 メーキャップ 15名 出席率 82.6%

前々回の修正出席率 出席者 43名 メーキャップ 30名 出席率 100%

◆ニコニコ献金（今年度累計 573,000円）

- ・本日の例会よろしくお願ひします。佐々木隆哉君入会おめでとう ～佐渡正幸君
- ・高橋パスト会長よろしくお願ひ致します。佐々木君頑張って下さい ～中島谷友一朗君
- ・田村さんオリエンテーションありがとうございました ～石井東洋彦君
- ・高橋邦弘パスト会長、卓話よろしくお願ひします ～大友淳君、本間明美さん
- ・佐々木さん入会おめでとうございます ～小野寺英夫君
- ・佐々木さんわからない事がありましたら遠慮無く聞いて下さい ～川村真一君
- ・メーキャップ忘れてすいません。今日の四つのテスト宜しくお願ひします ～菊地美恵子さん
- ・入会記念です。ありがとうございます ～小松亮次君
- ・山岸君、明日いよいよ髪切りに行きます ～坂入信行君
- ・入会記念日。本日卓話よろしくお願ひします ～高橋邦弘君
- ・邦弘さん本日卓話よろしくお願ひします ～富樫孝之君
- ・佐々木君入会おめでとう。しっかり頑張りたまえ・・・ ～本間弘人君

◆会長挨拶

《佐渡会長》



皆さんこんにちは、本日も例会にお越しいただきまして誠にありがとうございます。
まずは、佐々木隆哉君入会おめでとうございます。今まで、災害ボランティア等の奉仕活動をされている方でございますが、ロータリークラブと言う中で奉仕活動そして親睦活動を是非とも求めて頂けたらと思いますので、末永くよろしく願いいたします。皆さんにご報告をさせていただきます。前に少しお話しさせていただきましたが、地区の常設事務所の件についてです。5月15日のパークゴルフ大会の後に、臨時会長幹事会を開催いたしまして、そこで分区の会長幹事の意見を集約させて頂きました。この地区常設事務所については4月のPETS地区協議会の中で、駒形エレクトガバナーが常設することが有りきの発言が有った物ですから、それについて分区の皆様とお話をさせて頂きましたが、この地区事務所が常設されることによって本当にメリットが有るのか？あるいはどのような常設事務所が運営されていくのか、今の段階では常設事務所が有り、そしてガバナーを輩出しているクラブと言う、二重経費が掛かってしまうのではないかと言う心配もございまして、そういう部分の詳しい説明を受けた中で、分区としては賛成或いは反対と言う方向を示して行こうと言う事で本年度第7分区のコンセンサスを得ましたので、この事については、次年度の川村ガバナー補佐並びに当クラブの富樫会長に引き渡しをして決定して頂ければと思いますので、常設事務所についてご報告させて頂きました。

私の年度も終わりが近づいて来ております。先週は広報委員会篠原君のお話をさせて頂きましたが、本当に皆様のご理解・ご協力を得た中で間も無くゴールです。今年度からプログラムの変更が非常に多く、疾病予防並びに平和予防、紛争予防そして水と衛生そして母子の健康など新しいプログラムに対して真剣に研究しながら例会を仕切って頂きました、奉仕プロジェクト部門の理事、そして社会奉仕委員会の委員長の本間弘人君に心からの感謝と御礼を申し上げたいと思っております。私の目標といたしましては、ロータリークラブはやはり奉仕活動というのがメインの活動の団体でございますので、その予算内においても奉仕部門そしてクラブ運営の部門の予算比率においても出来れば、奉仕部門が50%以上に成る様な予算組も達成させて頂きました。実際問題その予算組をした中で、本間理事においては、理事兼務の委員長と言う事で本当に多くの社会奉仕部門の新しい知識を皆さんに伝えて頂きました事に心から感謝御礼を申し上げます。並びに奉仕プロジェクト部門につきましては、国際奉仕高橋委員長、そして職業奉仕の小林委員長、そして青少年奉仕の鈴木委員長にも大変お世話になっております。まだ、青少年フォーラムもございまして、皆様お力をお貸し頂いた中で本年度の奉仕部門の充実を計って頂きたいと思っております。

今日はプログラム委員会、大友委員長の最後の会員卓話と言う事で本当に一年間お世話になりました。会員卓話のトリを務めます高橋パスト会長に置かれましては、存分にお話を頂いた中で本日の例会を過ごして行きたいと思っておりますので、どうぞお願いを申し上げます。会長の挨拶とさせていただきます。

◆幹事報告

《中島谷幹事》



パーソナルボックスへナシ

回覧として3点

1. ガバナー事務所より「熊本地震被災者義援金への協力」のお願い。(最終日)
2. 例会プログラム変更の案内。集団メーキャップの案内。
3. 釧路北RACより、河川敷清掃・施設訪問の案内。

報告(口頭)として5点

- ・6月4日開催の青少年フォーラムのポスター・チラシを先週例会より配布しております。
- ・次年度ロータリー手帳が届きましたので申し込み頂いた会員へ配布します。
- ・集団メーキャップのご案内をしております。

釧路西RC：5月16日(月)14名で参加

釧路RC：5月19日(木)13名参加予定

釧路北RAC：5月24日 11名参加予定

- ・2015-16年度ロータリアンマスターズゴルフ大会

日時：5月21日(土)7:30~

場所：釧路CC東コース(7:15開会式)

参加者：萩原直前・坂入会員・佐賀会員・平澤会員・大澤会員

本間(弘)会員・多田会員・川村会員・工藤会員・中島谷幹事(10名)

佐渡会長：懇親会から出席

- ・退会者の件。丹葉一恵会員より今期を持って退会する旨の話と退会届が提出されました。会長も本人と話された中で、体調も優れず活動は続けられないと申していたようです。スポンサーの千田会員とも話し、残念ですが受理することにしました。昨日の理事会においても承認されています。(終身会員については後日ご本人の意思を確認させていただきます。)

「 会 員 卓 話 」

プログラム委員会 大友委員長



皆さんこんにちは、今年度の会員卓話は4回に渡りテーマを「釧路北ロータリークラブを学ぼう」と言う事で就任年次の古いパスト会長様に北クラブの生い立ち、または入会したころの出来事、エピソード等をご披露して頂いております。時代が新しく変わり、次々と変革しなければならぬ部分もございますが、変える為には古い事も知っておく必要もあるという観点から、お話頂いたパスト会長にお願いをして参りました。今日は4回目で最終、トリを飾って頂きます高橋邦弘パスト会長は、就任は2003年～2004年第46代会長でございます。早速お話を頂きます。高橋パスト会長よろしくお願いたします。

会員卓話

高橋邦弘パスト会長



皆さんこんにちは、今日は卓話と言う事で貴重なお時間を頂きまして皆様にお礼申し上げます。

今日の卓話に向け大友委員長より話の筋を頂きまして、私も話し易くなりました。非常に配慮のある委員長で感謝しております。

今日の話は25分間程度と言う事ですが、だらだら話すと3時間位になるのですが、何とか25分位に納めさせていただきます。

今日の内容は、釧路北ロータリークラブの誕生、出席・メーキャップ、入会した頃の雰囲気、家庭集会、先輩からの格言、エピソードなどがあります。話が多少前後するかもしれませんが、この内容に沿って話をしたいと思います。

北クラブの誕生の話をしますと、当然RIと関連がございますから少しRIについても話をします。最近、新しい会員も増えていきますから、集団オリエンテーションと言う様なとらえ方をしても結構だと思います。

私がロータリークラブに入会してからRIに対して印象深い事は、1923年の社会奉仕に関する声明として34号の決議と言う物が一番印象に残っております。よく23-34と言われてはいますが、若い人は何のことも理解していないと思います。ロータリークラブ創立以来、非常に争い事と言うか意見の相違が有りました。根本的な原因と言うのは、職業分類によって選ばれた会員と言う事で、ロータリークラブの最初の頃は職業を通じて会員同士の利益の拡大と言う目的が有り、商売で繋がる事が一番の目的でした。その次が社交クラブでそう言った事が一つの目的として創立されています。そういう観

点でロータリークラブの最初の頃は、職業奉仕が根本の道筋だったが、ロータリークラブが創立されて翌年には規約的なものが出来、その3つ目に社会奉仕と言う部分が入り、その後シカゴ市に公衆トイレを設置する事になった訳ですが、結局内部では意見の対立が有りました。3年目にPハリスが会長に選任されましたが、意見の対立で任期の途中で退任すると言う事が有りました。その事を見ても非常に強い主張のぶつけ合いが有ったと思います。結局根本的な問題と言うのは、職業奉仕を主体として考える人、団体奉仕として地域に奉仕するのが本来の姿だと言う人、それぞれの意見の食い違いがずっと続き、1923年に社会奉仕に関する声明が出るまで約20年続きました。1917年にはその食い違いから、社会奉仕は本来慈善事業だと言う人たちが、ライオンズクラブを創り移籍して行った経緯があります。そして、1913年度の会長が奉仕と言うのは社会奉仕が主体になる、そしてその奉仕の方法は団体奉仕だと言う事を提唱したことも原因でロータリークラブが分裂寸前の状況になったそうです。そう言う事を抱えながら1923年のセントルイス大会で決議されたのが、社会奉仕に関する声明です。その内容の第1項がロータリーを人生哲学まで高めた言葉で、これを発表して以降ロータリーが安定期に向かいました。私的には、個人奉仕も団体奉仕も両方認めれば争いが起きなかったと思います。1923年の声明と言うのは、第1項から第6項までであり文章が長いのですが、この第1項は非常に感銘深い文言が有ります。日本のロータリアンがこの声明文に感銘を受けました。決議23-34の第1項を読んでみます「ロータリーは基本的に一つの人生哲学であり、それは利己的な欲求と、義務及びそれに伴う他人のために奉仕したいと言う感情との間に常に存在する矛盾を和らげようとするものである。この哲学は奉仕―「超我の奉仕」の哲学であり、これは、「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」という実践的な倫理原則に基づくものである。」と言う事で、ロータリーを人生哲学にしてしまうと言う事です。第4項のはじめの方に「奉仕するものは行動しなければならない。従って、ロータリーとは単なる心構えのことをいうのではなく、また、ロータリーの哲学も単に主観的なものであってはならない」など、こう言う文言が書かれています。これが、日本のロータリアンにとっての心のバイブルとなっていました。そう言った事がありましたが、世界中のロータリーが標準ロータリー定款で、クラブを運営しており、そう言った事からRIと連動しておりますので、我々のクラブが創立からどのような活動をしたのか少しお話しいたします。北クラブは創立当初から釧路青年会議所に親密に協力をしておりました。1958年ごろから無医村に釧路JCと連動して、健康相談、医療診療を行ったと書かれており、その後も釧路JCが行っていた「山の子・海の子」の交流活動に資金援助を行っております。その他のその後の活動についてお話しいたします。RIが障害児支援にかなり力を入れていたために、クラブの活動も影響を受けており、ひかり学園、こぼと学園にクリスマスケーキ・鯉のぼりと金一封を贈りました。あるいはあまりも学園火災後の復旧に対して支援金を贈った、あるいは、こぼと学園に医療指導用遊具を寄贈、日新小学校の特殊学級に積み木を寄贈、旭小学校の特殊学級に言語障害治療機械2台を贈呈、釧路市精神薄弱者育成会の親子バス旅行に資金援助、1977年台湾宜蘭RCへ、児童図書館の図書購入の資金援助及び宜蘭RCとの交流を行ったと記録が有ります。その他の活動として、私が入会した1983年のも行っていた、各企業の社員の表彰と言う事を行っておりました。職場訪問例会も釧路市魚市場、本州製紙などで行い、その際に優良社員を表彰しておりました。会員企業での職場訪問例会、優良従業員表彰などを行っておりました。その他に会員企業の職場労働管理状態を調査して会報に発表したとありますが、今そんなことをしたら余計なお世話だと言われ兼ねないですが、そう言う会員企業の労使間の問題と言う物を取り上げておりました。他に労働問題についての卓話を釧路地方同盟議長よりお話頂いた事など、他に「企業と従業員問題について」を炉辺会合で行っていたと記録が有ります。今、奉仕部門は社会奉仕委員会、職業奉仕委員会・国際奉仕委員会・青少年委員会に分かれていますが、当時は、会務奉仕委員会と言う委員会が有りその中

には、会員銓衡・一般情報等の小委員会が有りました。職業奉仕委員会には、売手・買手関係、雇主
使用人関係、競争同業関係などに分かれており、ロータリーの創立の経緯に関してお話しましたが、
最初の頃のロータリークラブは会員の利益の拡大を追求したそうです。私たちのクラブも最初の頃は
会員間の取引を記録する係もあったと聞いております。そう言った事もあり、ロータリークラブを利用
した商売が非常に盛んだったと思います。例えば、日本全国の会員名簿が有りました。今はそう言
った物は出していませんが、1995年位までは2冊組になった名簿が有ったと記憶しています。アメリ
カではそれを利用し商売を行っておりました。当時は特にシカゴは非常に荒れた都会で、特にシカゴ
は暗黒街の代名詞でした。そういう中からロータリークラブが生まれたと言われております。ロータ
リークラブが今まで発展してきた原因の一つはそう言った職業分類が大きかったと思います。今は入
会する為にはそんなに難しくなく、当時は14項目位のチェックリストがあり、その一つでも当てはま
るものが有れば入会が出来なかったと聞いております。非常に厳しい中で、入会で来たのは非常に信
用されたのだと思います。委員会の構成の話に戻りますが、昔の社会奉仕委員会には、不具児童救
済・都市農村親睦・都市安全等の小委員会に分かれておりました。私が入会した頃にも、雇主従業員
関係委員会、社会安全心身障害委員会と言う物が有りました。1995年にはこれを一つにした、社会安
全・心身障害・高齢者委員会が有りました。

そろそろ時間が迫ってきましたが、最後に一つ、格言・提言と言う物ではないですが、私のつぶやき
を、皆さんに特に新しい会員に聞いて頂きたいのですが、新しい会員の皆さんは各自それぞれの動機
で入会されたと思います。また、それぞれの価値観が違うと思いますが、少なくとも会費に見合った
何かを得たいと考えます。会費に見合ったものをロータリーあるいはクラブから何かを受け
る事が出来るかと言うと、それは全くありません。また、会費を払って会員になるという事は義務が
生じるという部分があります。会費を払った対価や何かを得る事をクラブに求めるのではなく、自分
から創らなければダメだと私は思います。ロータリーまたは、クラブから得られる物が有形なのか無
形なのかと言う事もありますし、嫌な事、面倒な事、怒りを感じる事、反省する事もあります。それ
は考え方だと私は思います。それを価値のある物と感じるか、そういう事だったら居る意味がないと
感じるかの違いだと思います。会費に見合った何かを得ていないと感じたり、見つける事が出来な
いと思ったときは、在籍する意味がないと思います。私の入会した第一の目的は奉仕活動ではなく、会
員同士の親睦です。ロータリーに入り始めて出会った方がたくさん居ます。そう言った方々との一期
一会での巡り合いが会員同士のつながりだと思います。ですから、会員同士きちんと繋がり、親睦を
深めて頂きたいと思います。ロータリーの第一奉仕にはクラブ奉仕と謳っています。そして、親睦の
基本は挨拶です、何でも良いのです。特に新入会員は自分の年齢に関係なく積極的に声を掛けて下さ
い。その声を掛ける為には、出席しなければなりません。それが出席の向上にも繋がります。その声
掛けが、何かを得られる第一歩だと私は思いますので、是非とも積極的な声掛けをしてください。
まだ、色々話が残っておりますが、ロータリーは時間厳守ですので、これで私の卓話とさせていただきます。

